

京都花山天文台の将来を考える会 令和4年度総会

日時：令和4年7月3日（日）13時30分～14時

場所：京都大学理学部4号館（インターネット使った会議システム）

議事

1. 令和3年度業報告書
2. 令和4年度事業計画

参考資料

新聞記事

以上

令和3年度 事業報告

(令和3年(2021年)4月1日 ～ 令和4年(2022年)3月31日)

I. 概況

当法人は、任意団体「京都花山天文台の将来を考える会」を前身に、株式会社タダノ（代表取締役社長多田野宏一(設立時)）を設立者として、平成31年4月1日に「一般財団法人花山宇宙文化財団」として設立された。当法人の目的は、宇宙と自然に関する学術、研究、教育及び生涯教育の普及に寄与することとし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 天文台、望遠鏡及びその歴史的資料に関する研究、開発及び技術情報の提供
- (2) 研究会、講演会、教育研修、講座、セミナー、各種イベント等当法人の目的に資する企画の運営、開催及び講師派遣
- (3) ベンチャー企業に対する技術情報等の提供及び各種支援
- (4) インキュベーション施設、四次元宇宙シアター、プラネタリウム及び各種 研究施設の企画、賃貸、管理及び運営
- (5) 出版物、印刷物及びウェブサイトの企画、制作、発行及び販売
- (6) 各種情報の収集、分析、処理及び提供
- (7) 宿泊施設、駐車施設及び飲食店の企画、管理及び運営
- (8) 物品販売業
- (9) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

設立3年目となり財団運営は安定してきた一方、新型コロナ感染対策の影響を受けて事業計画実行には大きな支障が生じたが、オンラインでの情報発信などを活用して活動を推進した。

具体的事業としては、講演会を6月20日と11月21日にそれぞれ「花山天文台の将来を考える会」総会と参与会に合わせてオンラインで開催、5年目に入った金曜天文講話16回は全てオンラインで実施した。土日公開を見学会・観望会として計画したが、コロナ感染対策による開催期間の縮小と見学可能人数の制限により、計画していた参加人数を大きく下回った。

また世界的シンセサイザー奏者・作曲家である喜多郎氏による花山天文台応援コンサートを2年振りに花山天文台で開催したが、コロナ感染状況に鑑み無観客とし、コンサートの様子をオンラインアーカイブ方式にて発信した。このコンサートの費用はクラウドファンディングによって広く集めた。

新規事業としては、公共交通機関での花山天文台へのアクセスが便利となるよう東山ドライブウェイ上に京阪バスの新バス停を設置し、令和3年9月より運行が開始された。

II. 実施事業の概要

1. 講演会

1) 「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせて開催

開催日 令和3年6月20日 参加者 41名

会場 オンライン開催

講演テーマ・講演者 「起業家の夢・・・宇宙への夢」藤原洋氏

2) 「参与会」に合わせて開催

開催日 令和3年11月21日 参加者 38名

会場 オンライン開催

講演テーマ・講演者 「宇宙から見た京都の大地」尾池和夫氏

2. 金曜天文講話

第1回から第16回まで16回を全てオンライン方式で実施した。

	開催日	講演テーマ	講師	参加者
第1回	5月7日	宇宙の観測400年の歴史と京大岡山せいめい望遠鏡で見える世界	長田 哲也	60名
第2回	5月21日	”面白くない”太陽系の果て	有松 亘	73名
第3回	6月4日	日食と太陽コロナ	一本 潔	60名
第4回	6月25日	せいめい望遠鏡で超新星の正体に迫る	前田 啓一	59名
第5回	7月9日	宇宙線 その起源を求めて	川中 宣太	61名
第6回	7月16日	宇宙での距離の測り方	野上 大作	64名
第7回	8月6日	Blowin' in the Wind: (ブラックホール)の風に吹かれて	水本 岬希	67名
第8回	8月20日	太陽活動と地球	浅井 歩	64名
第9回	10月8日	歴史書に残るオーロラの記録と過去の太陽活動	磯部 洋明	59名
第10回	10月22日	せいめい望遠鏡誕生、夢の望遠鏡技術の詳細	栗田 光樹夫	48名

第11回	11月5日	大学望遠鏡を結集せよ	山中 雅之	50名
第12回	11月19日	赤外線で見える天の川銀河の真ん中	長田 哲也	56名
第13回	12月3日	クエーサー：明るく輝く超巨大ブラックホール	太田 耕司	54名
第14回	12月17日	弦理論と宇宙の始まり	杉本 茂樹	62名
第15回	1月7日	地球以外にも生命を宿す天体は存在するか？	佐々木 貴教	62名
第16回	1月21日	太陽の脅威とスーパーフレア	柴田 一成	50名

3. 刊行物

会報第8号 発行日 令和3年4月10日 部数 1000部
 会報第9号 発行日 令和3年9月30日 部数 1000部

4. 花山天文台土日公開

土曜日と日曜日の昼に公開を行い、月1回の土曜日の夜間には観望会を行った。
 ただし、コロナ感染状況の影響を受け開催時期が限られたことに加え、京都大学のコロナ感染対策ガイドラインに基づいた見学人数に絞ったため、想定した見学人数に比べ参加人数は限られた。

土日公開

実施期間：7月24日から8月1日まで、および10月30日から令和4年1月16日
 日まで、計24日

参加人数：のべ257名

内容；土曜日(太陽スペクトル観望コース、1日3回)

日曜日(4次元デジタル宇宙シアター上映コース、1日3回)

観望会

実施期間：7月17日、11月13日、12月11日

参加人数：のべ47名

5. 花山天文台応援 喜多郎野外コンサート「未来へ」

喜多郎氏による花山天文台応援コンサートを2年振りに花山天文台で実開催したが、コロナ感染状況に鑑み無観客とし、コンサートの様子はアーカイブ配信した。コンサートの開催費用はクラウドファンディングによって集めた。

開催日：令和3年10月16日

会場：京都市山科区北花山大峰町 京都大学花山天文台

共催：京都大学大学院理学研究科附属天文台、一般財団法人花山宇宙文化財団

出演者：喜多郎、Franci(vocal)、鹿嶋静(violin)、祝丸(小鼓)、總本山醍醐寺(声明)

視聴：無観客・オンラインアーカイブ配信方式(10月18日から31日まで)

6. 天文台グッズの販売

1) 直接販売

土日公開など実開催できたイベントや日数が限られ、直接販売する機会も少なくなったために販売数は限られた。

2) 委託販売

下記法人と委託販売契約を結び販売を継続中。

① 学校法人京都精華大学・京都国際マンガミュージアム

② (株) アクティブケイ・京都大学博物館ショップ“ミュゼップ”

また、京都市京セラ美術館で開館1周年記念展として開催された「モダン建築の京都」に花山天文台が取り上げられ、企画展開催中の令和3年9月25日から12月26日までの期間限定で京セラ美術館と委託販売契約を結び、マグカップ・マグネット・クリアファイル・絵葉書の委託販売を行った。

7. クラウドファンディング

野外コンサートの開催と花山天文台の維持継続、附属天文台支援を目的としてクラウドファンディングを実施し、総額454万円が集まった。

タイトル：「宇宙×音楽」の挑戦。天文台から音楽という波動を届けたい。

プラットフォーム：THE KYOTO crowdfunding

種類：実行確約 (All in) 型

期間：令和3年9月8日から10月15日 23:59 (コンサート前日) まで

集まった資金：4,540,000円(手数料除いて3,685,900円)

8. バス停新設

令和3年9月に新バス停の工事が京阪バスにより行われ、9月25日から天文台最寄の新バス停「花山天文台・阿舎」の運用を開始した。ただし、コロナ禍による緊急事態宣言のため実際のバス運行は10月からとなった。新バス停から徒歩10分程度で天文台へのアクセスが可能となった。

新バス停設置のための道路側溝改修工事の費用として、令和2年度に実施した国内版クラウドファンディングで集めた資金の一部を京阪バスへの寄付として提供した。

バス停名称：花山天文台・阿舎（東山ドライブウェイ上）

バス運行日：土日祝日。令和3年11月と令和4年3月最終週のみ毎日。

バス時刻表：土日の9時から17時の間、概ね1時間に1本。三条京阪～花山天文台・阿舎間の乗車時間は約10分。

III. 評議員および役員等に関する事項（令和4年3月31日現在）

評議員・理事・監事・事務局長

役職	氏名	肩書	就任年月日
評議員	稲盛豊実	公益財団法人稲盛財団 元専務理事	平成31年4月1日
評議員	佐藤文隆	京都大学 名誉教授	平成31年4月1日
評議員 (設立者)	多田野宏一	株式会社 タダノ 代表取締役会長	平成31年4月1日
評議員	長田哲也	京都大学 教授	平成31年4月1日
評議員	藤原洋	株式会社 ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO	平成31年4月1日
評議員	松本紘	国立研究開発法人理化学研究所 理事長 公益財団法人国際高等研究所 所長、 京都大学 元総長	平成31年4月1日
評議員	村山昇作	一般社団法人 天体望遠鏡博物館 代表理事、 株式会社 iPS ポータル元代表取締役会長	平成31年4月1日
評議員	冷泉為人	公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫 理事長 京都美術工芸大学 元学長	平成31年4月1日

理事長 (代表理事)	柴田一成	同志社大学特別客員教授 京都大学 名誉教授	令和3年6月8日
常務理事 (業務執行理事)	北川聡一	株式会社 文化工学研究所 専務取締役	令和3年12月16日
理事	位高光司	株式会社 KI 経営研究所 代表取締役、 京都経営者協会 元会長、 日新電機株式会社 元会長	令和3年6月8日
理事	尾池和夫	静岡県立大学 学長兼理事長、 京都大学 元総長	令和3年6月8日
理事	岡村勝	株式会社 ヒーロー 代表取締役	令和3年6月8日
理事	荻野司	合同会社 ゼロワン研究所 代表	令和3年6月8日
理事	西亨	株式会社 阪南コーポレーション 執行役員副社長	令和3年6月8日
理事	野上大作	京都大学 准教授	令和3年6月8日
理事	松田和典	M・G マーケティング研究所 所長	令和3年6月8日
監事	向井苑生	京都情報大学院大学 教授	令和元年11月25日
監事	吉田晴夫	住友銀行 元四国法人部次長	平成31年4月1日
事務局長	石井貴子	京都大学研究員	令和3年6月8日

参与

役職	氏名	肩書	就任年月日
特別参与	山極壽一	総合地球環境学研究所 所長、 京都大学 前総長	令和3年6月8日
参与	大野照文	三重県立博物館 元館長、 京都大学名誉教授	令和3年6月8日
参与	岡崎甚幸	武庫川女子大学教授、 京都大学名誉教授	令和3年6月8日
参与	小崎哲哉	京都芸術大学大学院教授	令和3年6月8日
参与	喜多郎	音楽家	令和3年6月8日
参与	小山勝二	京都大学名誉教授	令和3年6月8日
参与	笹岡隆甫	未生流笹岡家元	令和3年6月8日
参与	鈴鹿可奈子	株式会社 聖護院八ッ橋総本店 専務取締役	令和3年6月8日
参与	竹宮恵子	漫画家、 元京都精華大学学長	令和3年6月8日

参与	田原博明	京都府人事委員会委員長、 元京都府教育委員会教育長	令和3年6月8日
参与	津田真	株式会社丹青社 チーフプランニン グディレクター	令和3年6月8日
参与	西靖雄	弁護士 (花山宇宙文化財団顧問弁護士)	令和3年6月8日
参与	長谷川和子	株式会社ケアソシエイツ 代表	令和3年6月8日
参与	長谷川靖子	京都コンピュータ学院 学院長	令和3年6月8日
参与	丸川修	京都府総合教育センター、 京都府立図書館元館長	令和3年6月8日
参与	山崎直子	宇宙飛行士	令和3年6月8日
参与	わたなべ邦子	京都府議会議員	令和3年6月8日

IV. 職員に関する事項（令和4年3月31日現在）

事務局長 1名、（雇用関係にある）事務局員 1名。

V. 会議・会合

1. 評議員会・理事会

1) 令和3年度第1回理事会開催：令和3年5月29日

第1号議案：令和2年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：令和3年度定時評議員会を招集する件

報告1 クラウドファンディングの実施結果

報告2 花山天文台付近バス停新設の件

報告3 職務執行状況報告（令和3年度第1回）

2) 令和3年度定時評議員会：令和3年6月8日

第1号議案：令和2年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：理事の選任に関する件

3) 令和3年度臨時理事会：令和3年6月8日

(1) 理事長（代表理事）の選定に関する件

(2) 常務理事（業務執行理事）の選定に関する件

(3) 事務局長の任命に関する件

- 4) 令和 3 年度第 2 回理事会開催：令和 3 年 12 月 16 日
第 1 号議案：常務理事の交代について
報告 1. 令和 3 年度事業報告（中間報告）
報告 2. 花山天文台土日公開・観望会実施状況
報告 3. 花山天文台応援・喜多郎野外コンサート「未来へ」実施報告
報告 4. 花山天文台付近バス停新設の件
報告 5. 職務執行状況報告（令和 3 年度第 2 回）

- 5) 令和 3 年度 第 3 回理事会開催：令和 4 年 3 月 17 日
第 1 号議案 令和 4 年度事業計画・予算について
報告 1. 宇宙天気基礎講座の開催
報告 2. 職務執行状況報告（令和 3 年度第 3 回）
報告 3. その他（京都北ロータリークラブからの寄贈）

2. 京都花山天文台の将来を考える会総会：令和 3 年 6 月 20 日
 1. (一財) 花山宇宙文化財団役員等の変更
 2. 令和 2 年度業報告書
 3. クラウドファンディングの実施結果
 4. 花山天文台付近バス停新設の件
 5. 令和 3 年度事業計画

3. 令和 3 年度参与会：令和 3 年 11 月 21 日
 1. 花山宇宙文化財団役員等の変更
 2. 令和 2 年度業報告書
 3. 令和 2 年度のクラウドファンディング実施結果
 4. 花山天文台付近バス停新設の件
 5. 令和 3 年度事業計画
 6. 花山天文台応援・喜多郎野外コンサート「未来へ」実施報告

VI. 会員に関する状況（令和 4 年 2 月 28 日現在）

賛助会員 21 名、一般会員 245 名。

(附属明細書の作成について)

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月
一般財団法人 花山宇宙文化財団

令和4年度 事業計画

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

I. 基本方針

設立4年目に入り財団の運営方式が安定しつつある反面、新型コロナ感染対策等の影響を受けて事業計画実行には支障が生じている。そういった状況ではあるが、将来的に地域住民や観光客が自由に訪れて、天文・宇宙の世界に触れることができる花山天文台の実現を目指していくことには変わりがない。そのために次のような目標を設定し、まず短期的目標の実現を図っていく。

短期的目標 (1～3年)

- (1) 小中高校見学・実習を毎日受け入れ可能な体制を実現する。
- (2) 天体観望会や講演会、勉強会やワークショップ、芸術・文化系イベントを開催する。
- (3) 海外からを含む観光客を引きつける新たな魅力となる。
- (4) 上記を達成するため100人収容可能な講演室と資料室を建設する。

長期的目標 (4～10年)

- (1) 宇宙科学館(天地人ミュージアム[案])の設置を目指す。
- (2) 花山天文台の文化とも融合できるような、先端的ものづくりをテーマにしたイノベーションセンター計画を考えている。
- (3) 星空観察会や野外コンサートなどの各種イベントが開催できる多目的広場の設置も考える。

II. 事業計画

1) 会議・講演会

- ① 定例の評議員会を6月に開催する。
 - ② 定例の理事会を5月、11月、3月に開催する。
 - ③ 臨時の評議員会・理事会は必要に応じて開催する。
 - ④ 参与会を秋ごろに天文台イベントに合わせて開催する。
 - ⑤ 講演会を「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせて開催する(6月予定)。
- なお、新型コロナ感染状況を見極めつつ、オンライン開催を主体として計画する。

2) 金曜天文講話

5年間に亘り天文学者が最新の天文学を一般の人を対象に分かり易く講義し、毎年好評を博してきた。オンライン方式となってからは参加者の地域分布も広がってきている。5月から来年1月まで、隔週金曜、16回の開催を計画する。

前期：8回(5月13日～8月26日) 後期：8回(10月14日～1月27日)

場所 Zoomによるオンライン開催

なお、新型コロナウイルスの終息状況によっては、キャンパスプラザ京都での開催

も検討する。

3) 会 報

京都花山天文台の将来を考える会の会報として既に9回発行したが、同じ体裁で年2回の編集・発行を行い、情報発信に努める。

発行時期 4月、10月

内容 A4判、カラー、16頁、1000部程度

4) 花山天文台土日公開

新型コロナ感染対策を実施したうえで、事前申込限定で、土曜日と日曜日の昼に公開を実施する。また、月に1回、土曜日の夜に星空観望会も従来の基金観望会として実施する。なお、新型コロナ感染状況により開催の可否を決定する。

5) 花山天文台応援野外コンサート

世界的なシンセサイザー奏者・作曲家である喜多郎氏を招いて花山天文台応援野外コンサートを実施する。なお、新型コロナ感染状況により開催の可否および方法を検討する。

開催時期: 10月上旬 場所: 花山天文台

6) 天文台グッズの販売

収益事業の一環と位置付けて天文台グッズ販売を継続する。対面販売の機会が激減しているため、通信販売の促進について検討を続ける。

7) 天文台関連イベント

天体観望会や見学会、講演会を花山天文台・宇宙落語会等と協力して適宜計画、開催する。

8) 資金集め

ファンドレイジングの専門家の参画を得て、コンサート協賛企業の募集、天文台基金報告書の改善、寄附者情報の整理方法などへのアドバイスをいただいた結果、コンサート協賛企業の増加、名簿関連業務の改善に結びついた。本年度も継続して、ファンドレイジングの専門家に協力いただき、新規事業を遂行していく。

9) 宇宙天気基礎講座(新規事業)

民間人や民間企業が宇宙に進出する時代となり、「宇宙天気予報」の重要性が世界に広く認識されるようになってきた。この機会を活かし、宇宙ビジネスや宇宙天気予報に関心のある企業や市民を対象にした宇宙天気基礎講座を開催する。本講座を通じて広く宇宙天気研究の現状や花山天文台の存在を知っていただくことを目的とする。

以上

花山天文台 未来につなぐ調べ



花山天文台の施設ステージで演奏する喜多郎さん。2015年10月、京都市山科区。同天文台提供

「アマチュア天文学の聖地」として親しまれている京都府山科区（京都市山科区）は10月16日、世界的な音楽家喜多郎さんによる2年ぶりの野外コンサート「未来へ」を同天文台で開催する。財政難で運営が危ぶまれる同天文台の魅力を伝えるのが狙い。会場は無観客とし、後日インターネット配信する。クラウドファンディング（CF）で協力資金を募っている。

来月16日 喜多郎さん野外コンサート

花山天文台は1929年の創設以来、太陽系観測などで成果を上げたほか、一般市民にも公開し天文学の普及を支えてきた。しかし近年は、国の予算削減などの影響で年間約1千万円かかる運営費をまかなえず、企業や個人の寄付により存続している。

コンサートはそんな窮乏を聞いた大の天文ファン喜多郎さんが無償で協力し、2013年から毎年企画。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止したが、今回

無観客、後日配信 CFで資金募る

は自宅で楽しんでほしいという配信形式に切り替えて開催することにした。当日は約2時間のステージで、喜多郎さんが神秘的な宇宙空間の映像に合わせてシンセサイザーの演奏を披露。人工衛星に寺院の機能を持たせる「宇宙寺院プロジェクト」を計画している、龍廟寺の僧侶による「声明」とコラボレーションする初の試みなどもある。

喜多郎さんは「新型コロナウイルス困難な状況から一歩踏み出せるような音楽を届けたい」と話す。花山天文台前会長で同志社大特別客員教授の柴田一成さん（66）は「花山天文台の未来につながる場になればうれしい」と意気込む。

配信は10月18、31日予定し、視聴権はCFの返礼品として用意している。CFは京都新聞社などが運営する「THE KYOTO Crowdfunding」で、目標額（300万円）はコンサートの開催費に充て、超過分は花山天文台の運営などに活用する。



CFのページはこちら

（森大樹）

2021年9月15日
京都新聞

京大・花山天文台 存続願いの野外コン

16日 寄付で配信視聴権

京都大の花山天文台（山科区）で10月16日、音楽家の喜多郎さんのコンサートが2年ぶりに開かれる。コロナ禍で無観客だが、天文台の存続を願い、クラウドファンディング（CF）で寄付をしてくれた人たち、オンライン配信する。喜多郎さんらは「歴史ある

場所を子どもたちに残すため、ぜひ応援して」と呼びかけている。

同天文台は1929年に開設された。太陽や火星の観測で成果を上げるとともに、広く見学や実習を受け入れ、アクセスも良く「アマチュア天文学の聖地」として親しまれてきた。だが

予算削減の影響で、存続が危ぶまれるようになった。2019年に、民間企業からの寄付を受け、当面の閉鎖は免れた状態にある。

喜多郎さんは12年、初めて花山天文台を訪れ、前会長柴田一成名誉教授の天文台への思いに共感。以来毎年、報酬なしでコンサートを開いてきた。だが、昨年はコロナ禍で中止を余儀なくされた。

今回は、喜多郎さんの演奏と天文映像が呼応するライブのほか、龍廟寺（伏見区）の僧侶による声明とのコラボもある。喜多郎さんは「（コロナ禍の）こういう時だから、一歩踏み出して、音楽を届けたい」。柴田名誉教授も「天文台の未来につながる出発点になれば」と期待する。

CFは15日まで、5千円の寄付で、18、31日にオンライン配信される野外コンサート動画の視聴権が付く。目標額（300万円）はコンサート費用に充て、さらに集まったら、天文台



花山天文台で演奏する喜多郎さん。2015年10月、同天文台提供

2021年10月1日
朝日新聞 京都版

10月14日に滋賀版にも掲載

の設備の修繕も歴史資料の整備などに活用する。CFサイト「THE KYOTO」(https://the-kyoto.en-jine.com/projects/kazantennon-dai)。(永井啓子)

CFで待望のバス停

花山天文台存続へアクセス改善



●京都大花山天文台に新設された待望のバス停を前に撮影。右の奥の美田一成さん。天文台までの案内板も設置した。●京都大花山天文台の本館トナリに設置されている場所。歴史遺産。世界的なロケット・ライオン」のキヨリストで天体物理学専攻のライオン・メイさんの写真がある。京都市山科区

今月末にも一般公開

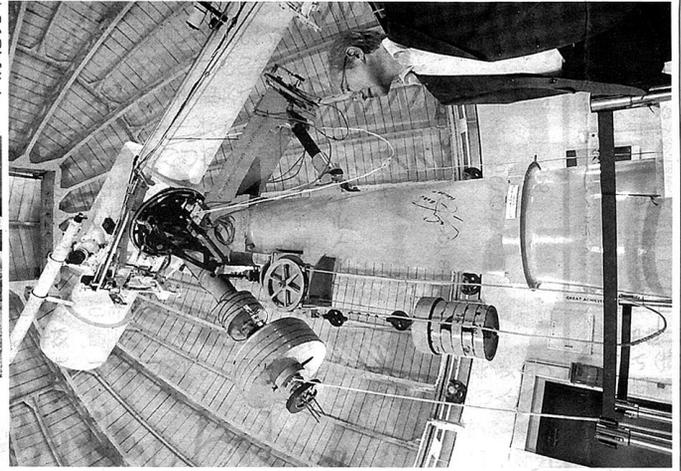
資金難で存続に揺れる京都大の花山天文台（京都市山科区）近くに待望のバス停が設置された。研究者や有志が存続に向けて活動しているが、公共交通機関での不便が課題でバス停新設の資金を募っていた。新型コロナウイルスの感染拡大で実現していなかった定例の一般公開も10月末から開催する予定。多くの方の来訪につながればと期待している。

【千葉紀和】

同天文台は1989年（昭和64年）国内著名の天文学者美田一成が設立された。太陽や火星の観測で知られ、研究者やアマチュア天文家も育成し、アマチ

ユア天文台の聖地と呼ばれる。国内著名の天文学者の美田一成が設立された。太陽や火星の観測で知られ、研究者やアマチュア天文家も育成し、アマチ

だが、運営に必要な予算がつかなくなってきた。京大は2018年岡山天文台（岡山県児市）に大型望遠鏡を設置し、資金をそちらに配分したため、閉



鎖の危機に陥ったが、高松市の企業が10年間で計、島田の寄付を申し出て、28年度まで存続のめどがついた。研究者や有志らは、歴史ある天文台を次世代の天文・宇宙文化教育の拠点にしたいと、19年に花山宇宙文化財団を発足。資金確保に向け、研究者が宇宙や天文をテーマにした講演会を続け

る。20年春からは土・日曜に講演やガイドツアー付きの一般公開を始める予定だったが、コロナ禍で定期開催できなくなった。京都市中心部から遠くない同天文台の立地だが、花山（るるる）の山頂近くに建ち、最寄りの京都市地下鉄東西線「陣上」駅からは徒歩30分を要する。このため、2年前から京阪バスにバス停

を徒歩10分以内で着くという。バスは三条区「駅裏」で土曜日の中1時間1本のペースで運行する。同天文台の存続活動を続ける元倉の柴田一成・同本社特別客員教授（66）は「車のない方には不便だったが、急遽のバス停ができた。92年の歴史がある天文台にはおまがたくさんである。この機会に親子で訪れ、子どもたちが宇宙や天文に興味を持つきっかけにしてもらえたら」と話す。

9月末に新設されたバス停「花山天文台・阿含」は、同天文台

10月30日開始予定の一般公開は、講演と映像体験を含むプログラムである。コロナ対策で人数制限があり、申し込みが必要。有料。16日には世界的遺産家の喜多郎さんによる「2年ぶりの野外コンサート『未来へ』」を同天文台で開催（無観客・オンライン配信）する。いずれも予約と詳細確認は同天文台のウェブサイト（<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>）で

「未来へ」音色の支援

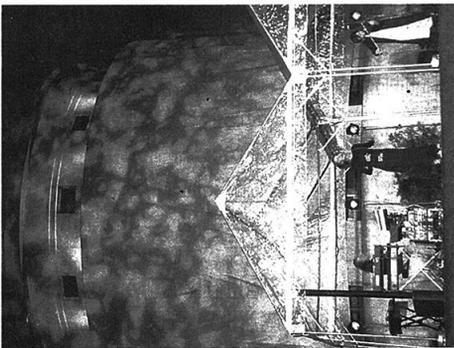
撮影した宇宙や天体の映像を背景に、喜多郎さんがさまざまな楽器を駆使し、バイオリン奏者らと美しい音色を響かせた。醍醐寺（同市伏見区）の僧侶らも今回出演し、仏教の経文に節や音程を付けて唱える「聲明」で独自の世界観を演出した。

京大花山天文台

喜多郎さん熱演

新型コロナウイルス対策のため無観客で、2年ぶりに開催された。同天文台の運営費確保が目的で、クラウドファンディングにより目標の300万円を上回る455万円が集まり、支援者にコンサート映像を配信する。会場は天候が崩れ、雨天中断を挟みながらも、喜多郎さんらは約3時間の熱演を繰り広げた。ポラテイヤで出演した喜多郎さんは演奏後、「歴史ある花山天文台が続くよう、みんなで盛り上げていきたい」と語った。

【千葉紀和】



92年の歴史を持つ花山天文台本館前に特設されたステージで演奏する喜多郎さん（左）ら。＝京都市山科区の花山天文台で

2021年10月20日
毎日新聞

2021年10月12日
毎日新聞

石川九楊さんら10人

京都市文化功労者

京都市は本年度の市文化功労者を決めた。書家の石川九楊さん(76) 東京都 俳優の北大路欣也さん(78) 東京都 MUSEUM館長の熊倉功夫さん(78) 北区、理論物理学者の佐藤文隆さん(83) 西京区、歌手で俳優の沢田研二さん(73) 東京都、京都橋大名誉教授の田端泰子さん(79) 左京区、現代美術家の藤本由紀夫さん(71) 大阪府、能楽師の前川光長さん(69) 右京区、染織家の村上良子さん(72) 左京区、京人形司「面庄」十四世の面屋庄甫さん(74) 中京区 10人。22日に中京区の市役所で表彰式が開かれ

る。石川九楊(いしかわ・きよろう) 京都大在学中に書の研究団体を結成し、研究誌を創刊。書家として独立後は絵画的な現代書を追求し、文学的表現としての側面を重視した書論を提唱した。京都精華大名誉教授を務める。北大路欣也(きたおおし・けんじ) 13歳で俳優デビュー。大河ドラマ「竜馬がゆく」で主演を務め、多数の時代劇に出演した。現代劇にも活躍の幅を広げ、高い演技力で存在感を放つ。時代劇の継承にも尽力する。熊倉功夫(くまくら・いきお) 茶道史や料理文化史を研究し、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた国の検討会で会長を務め、登録に尽力した。M.I.H.O. MUSEUM(甲賀市)の館長を務める。

佐藤文隆(さとう・ふみたか) 湯川秀樹氏に憧れ京都大理学部へ入学。宇宙の進化やブラックホールを研究。湯川氏が初代所長だった京大基礎物理学研究所の所長も務めた。専門の理論物理学を基盤に広く言論活動も行う。沢田研二(さわた・けんじ) バンド「ザ・タイガース」でボーカルを務め、解散後はソロで活動。代表曲「勝手にしやがれ」などで日本音楽界の一時代を築いた。役者としても活躍し「キネマの神様」では主演を務めた。田端泰子(たへた・やすこ) 京都橋女子大(現京都橋大)の学長を務め、現在は名誉教授。女性史研究の第一人者で、中世の女性に果たした役割や地位の解明に取り組んだ。現在も講演活動を行い、後進の育成に尽力する。藤本由紀夫(ふじもと・ゆきお) 日常の音に着目した

「サウンド・オブジェ」の制作で知られる。イタリアの国際美術展「ヴェネツィア・エンナーレ」には2度招待された。京都芸術大の教授として後進の育成にも尽力する。前川光長(まへかわ・みつる) 太鼓方の第一人者。京都市出身で11歳の時に初舞台を踏んだ。太鼓方金春流の社中の「七曜会」を主宰し、後進の指導に尽力。子ども向けの能楽教室も開き次世代に魅力を伝える。村上良子(むらかみ・りょうこ) 志村ふくみ氏に師事し、独自性ある色彩や意匠構成で現代的な細織(つむぎおり)を表現。2016年には人間国宝に認定された。倉敷芸術科学大で後進の指導に当たり、現在は名誉教授を務める。面屋庄甫(めんや・しょうぼ) 江戸時代から京都で続く京人形司の家に生まれ、1996年に十四世面庄を襲名。国内のみならず、米ニューヨークでも個展を開催するなど、世界に日本人形の魅力を発信する。



田端泰子氏

石川九楊氏



藤本由紀夫氏



北大路欣也氏
(撮影:柴田フミコ)



前川光長氏



熊倉功夫氏



村上良子氏



佐藤文隆氏



面屋庄甫氏



沢田研二氏

2021年11月18日
京都新聞

北大路さん「京都は私の原点」



表彰状を受け取り笑顔を見せる北大路さん(中央)
＝22日午後3時35分、京都市中京区・市役所

市文化功労者の表彰式

京都市は22日、文化功労者の表彰式を中京区の市役所で開いた。市出身の俳優北大路欣也さんが門川大作市長から表彰状を受け取り、喜びや京都への思いを語った。

市は、学術や芸術の分野で功績があった市ゆかりの人を文化功労者として毎年表彰している。本年度は、北大路さんをはじめ、書家の石川九楊さん、「M.I.H.O. MUSEUM」館長の熊倉功夫さん、理論物理学者の佐藤文隆さん、歌手・俳優の沢田研二さん、京都

橋大名誉教授の田端泰子さん、現代美術家の藤本由紀夫さん、能楽師の前川光長さん、染織家の村上良子さん、京人形司「面庄」十四世の面屋庄甫さんら計10人を選んだ。

表彰式には沢田さん以外の9人が出席。北大路さんはあいさつで「京都で少年時代を過ごしたことが私にとって全ての原点。(当時の)友達の友情、先輩の指導があり、今も映画やテレビ、舞台で仕事をさせていただいている」と感謝を述べた。(高山浩輔)

2021年11月23日
京都新聞

終了まで61日

チケット購入

京都市京セラ美術館開館1周年記念展

モダン建築の京都

2021年9月25日-2021年12月26日

会場 [新館 東山キューブ]

https://kyotocity-kyocera.museum/exhibition/20210925-1226

開催概要

展示構成

主な展示内容

図録と音声ガイド

連携企画

まち歩きを楽しもう！ 会期中のモダン建築連携企画

7. 花山天文台

日本で現役最古の望遠鏡が稼働する天文台。特徴的な白い外観や、エントランス廻りなど建築的な見どころが満載。本展にあわせて、花山天文台(土日のみ公開)との相互優待もあり。

公開日:本展会期中(2021年9月25日~12月26日)の土日に実施予定

※新型コロナウイルスの状況により、見学を中止する場合があります。最新情報は下記ウェブサイトから。

[花山天文台ウェブサイトへ](#)



撮影：三吉史高

明治以降の京都モダン建築が一堂に、人気喫茶の椅子で撮影も

2021.9.29 07:15



会場風景「セクション7 モダン建築の京都」より

<https://www.lmaga.jp/news/2021/09/336003/>

花山天文台「憩いの場に」

京都北ロータリークラブ ベンチ・照明器具寄贈



訪れた人が憩える場を作ろうと、京都北ロータリークラブが寄贈したベンチ(京都市山科区・花山天文台)

アマチュア天文学の聖地として知られる京都大花山天文台(京都市山科区)に、市民らが訪れやすい環境を整えようと、京都北ロータリークラブ(上京区)がベンチや照明器具を寄贈した。

天文台は1929年に設立され、太陽観測やアマチュア天文学の発展に貢献。近年は国の予算削減で資金難が続き、老朽化も課題となっている。

クラブは訪問者が憩える屋外用ベンチ6台

を寄贈したほか、敷地内の道路約70分に誘導灯を設置した。寄付総額は約1500万円で、今後、小学生を対象とした観望会を開く予定。増田康男会長(60)は「子どもが自然科学に触れられる憩いの場になればうれしい」と期待する。

一本澤天文台長(64)は「運営費が足りず寄付で維持している状況。多くの人に応援してもらって心強い」と話していた。(森静香)

YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得 ログイン 365日いつでもお得 24時間タイムセール

キーワードを入力 | Q | マイページ | 購入履歴 | 設定

トップ | 速報 | ライブ | 個人 | オリジナル | みんなの意見 | ランキング | 有料

主要 | 国内 | 国際 | 経済 | エンタメ | スポーツ | IT | 科学 | ライフ | 地域 | トピックス一覧

ビジネス拡大で注目「宇宙天気」 京大花山天文台の画像使い講座

4/6(水) 17:21 配信 1 | 毎日新聞



1929年に国内2番目の大学天文台として設立された京都大花山天文台=京都市山科区で2021年10月1日午後1時55分、千葉紀和撮影

宇宙空間を利用したビジネスの拡大で注目を集める「宇宙天気」について学べる連続基礎講座が、21日からオンラインで開講される。資金難が続く京都大花山天文台(京都市山科区)の存続と活用を目指す花山宇宙文化財団が初めて企画した。

宇宙天気は、主に太陽活動によって地球近くで発生する太陽風などの自然現象を指す。人工衛星や通信インフラなどに与える影響を予測する「宇宙天気予報」も、宇宙の民間利用の広がりで重視されている。

基礎講座は入門編(全5回)と応用編(全3回)を用意。同財団理事長の柴田一成・元日本天文学会会長、ニュース番組で活躍する気象予報士の斉田季実治さん、小原隆博・東北大教授の3人が、太陽活動の幅広い影響や宇宙天気をもたらす災害について、一般向けに解説する。花山天文台の望遠鏡が捉えた太陽フレアなどの画像も活用する。

11月まで毎月1回、オンラインで開催(見逃し配信あり)。定員は先着50人。参加費は入門編が全5回で1万円、応用編が全3回で6000円。申し込みや詳しい日程は財団ホームページ(<http://www.kwasan.kyoto/uchutenki2022.html>)。【千葉紀和】

井棋聖
安勢か
藤井棋
一緒に
預を浮
寄幸)

太陽フレア 最大100兆円損失

「当初予想していたより多くの受講生が集まり、関心の高さを感じる。」4月に宇宙天気的一般向けオンライン講座を開いた同志社大の柴田一成・特別客員教授は手応えを話した。

講座内容は宇宙天気の仕組みから社会・生物への影響、予報の現在まで幅広く、講師陣にはNHKの報道番組などで活動する気象予報士の青田季実治さんも名を連ねた。受講生は当初予想していた40人程度を上回り、急遽100人まで枠を増やした。

宇宙天気が主に対象とするフレアは、大規模なものが発生すると、早ければ数分〜数十分後に強力な電磁波や紫外線が地球近くまで届き、人工衛星の故障や宇

民間ロケットの打ち上げや民間人の宇宙旅行など、宇宙ビジネスが盛り上がる中、太陽活動が地球へ与える影響を予測する「宇宙天気予報」が注目を集めている。太陽表面で発生する爆発現象「フレア」は、人工衛星や無線通信、電力網など幅広い分野に障害をもたらす。大規模なものは経済的損失が100兆円にのぼることも指摘される。フレアの発生やその影響を一般向けにわかりやすく伝える「宇宙天気予報士」が必要だとする声も上がっている。

(秋山紀浩)



宇宙天気予報 知ってる？

通信・電力障害 高まる予報士需要

1989年に起きたフレアでは、米国内の機器が故障し、大規模な停電が発生。カナダのケベック州では9時間

技術が高度化している現在では、経済的損失はさらに大きくなると見込まれる。近年の研究では、1859年に観測された記録上最大のフレアと同規模のものが現代で発生した場合、全世界で100兆円以上の損失が出ると推計されている。総務省が4月26日に公表した想定でも、日本で100年に1回程度の現象が起きた場合、携帯電話や防災無線が約2週間なくなる

にわたり約600万人が影響を受けた。2003年には、日本の環境観測衛星「みどり2号」の電子回路がフレアで破損して運用断念を余儀なくされ、数十億円もの損失が出たとされる。



大陽活動は約11年周期で活発な時期と穏やかな時期を繰り返している。次にフレアが多発するピークは令和7年に到来するとみられ、各国で警戒が強められている。日本では、国立研究開発法人の情報通信研究機構(東京)が昭和63年から宇宙天気予報を毎日発表。そのデータなどを基に宇宙天気にも警報基準を設け、年度内に運用を始める

令和7年にピーク 技術が高度化している現在では、経済的損失はさらに大きくなると見込まれる。近年の研究では、1859年に観測された記録上最大のフレアと同規模のものが現代で発生した場合、全世界で100兆円以上の損失が出ると推計されている。総務省が4月26日に公表した想定でも、日本で100年に1回程度の現象が起きた場合、携帯電話や防災無線が約2週間なくなる

「本日午前、太陽表面で数十年に1度の規模のフレアが発生する見込み。携帯電話や防災無線の通信障害にご注意ください」。こんなニュースが流れる日もそう遠くないかもしれない。

現在では8割程度の確率でフレアの発生を予想でき、柴田氏は「100%近くまで高めることも原理的には可能」と説明する。一方で課題となるのは、宇宙天気を広く周知していく活動だ。普通の天気予報に比べ圧倒的に認知度が低いため、専門用語や影響の度合いを分かりやすく伝える存在が今後必要となる。柴田氏は「将来的には宇宙天気予報士のような存在が必要とされる日が来るだろう。まずは宇宙天気の面白さを伝えていきたい」と話した。

食と農の
みらい
新コミュニティを
「きっかけ」に開設
詳細は5面またはQRコードから
情報通信研究機構が
公表している宇宙天
気予報のサイト画面

